

飯田市立上村小学校 5・6 学年 ― 上村の自然を生かして

飯田市南部に位置する上村小学校は、全校 24 人という少人数ながらも、地域の自然や人とのつながりを大切にしながら、多様な活動に取り組んでいます。児童たちは「自然を守り、生かす」ことをテーマに、地域の方々と連携しながら学びを深めています。

ウッドデッキを再活用した遊具づくり

校庭に新しい遊具を設置したいという思いから、木工グループの児童たちは活動をスタートさせました。きっかけは、地域の保育園にあるウッドデッキを取り壊すという話を耳にしたこと。廃棄されるのはもったいないと感じた子どもたちは、そのウッドデッキを小学校に移設することを提案。校長先生や公民館の方々と相談し、設置場所を決定しました。

地域の大人たちと協力してウッドデッキの解体作業を行い、防腐剤を塗布。2 月には組み立てを行う予定です。自分たちの手で整備した遊具が完成すれば、思い出に残る場所となるだけでなく、地域とのつながりを感じる場所にもなるでしょう。

花を育てて自然と地域に笑顔を

自然グループは「自然を守って増やしたい」という思いから、花の栽培活動に取り組んでいます。プリムラジュリアンとアネモネを学校に植えたほか、育った花は保育園やデイサービスセンターに届ける予定です。

この活動を通じて、植物の命を育てるだけでなく、人や動物が気持ちよく過ごせる環境づくりにも貢献したいという思いが込められています。身近な自然に目を向けることが、持続可能な社会の第一歩であることを実感する機会となっています。

未来への展望

上村小学校の児童たちは、地域の自然と人との関わりを通して、「自分たちにもできること」を見つけながら活動を行っています。少人数だからこそ、一人ひとりの思いや行動が大きな力となり、地域との絆を育んでいます。今後も自然との共生を意識した実践的な学びを続けていきます。